

第3回 青少年指導員の仲間を増やすための取り組み

○相模原市

青少年指導員を増やすためには、地域ぐるみでの理解と協力が不可欠です。まず、青少年指導委員の活動内容や、やりがいを広く周知することが大切だと考えています。

月1回、役員会を開催して情報交換し、更には研修部会や広報部会など、組織として活動を行っています。

また横のつながりとして、子ども会、鼓笛隊、ボーイスカウト・ガールスカウトなどの団体と連携し、市民祭りを始めとした様々な場面において、共同でイベントを開催し、活動を広く認知していただいています。また、市青少年指導委員連絡協議会広報誌である「はげいとう」を年2～3回発行し、相模原市青少年指導委員連絡協議会のホームページにも掲載しています。詳細は、下記のQRコードをご参照ください。

他にも地域イベントでの活動紹介や、実際の活動の様子を映像やSNSで発信しており、更なる広報活動に力を注いでいます。

今後も青少年の健やかな成長を支える仲間を一人でも多く増やすため、市全域で活動に励んでまいります。

相模原市青少年指導委員連絡協議会HP→



○横須賀市

横須賀市青少年育成推進員

定数見直しに関するアンケート

次期、令和8・9年度改選に向けて、推進員定数の見直しを検討しています。
下記QRまたはURLから、簡単なアンケートにお答えいただき、各中学校区の活動実態をお聞かせください。
(スマートフォン用QR)

欠員しているけど、活動自体は少ない。定数は減らしていいかも？

定数は今のままでも良いけど、とにかく欠員が来たら活動ができない！

学区の行事が多く、とても定数4人ではやっていけない

活動に負担を感じている人も、もう少し定数を減らしても活動に支障はないんじゃないかな？

サンプル

URL: <https://shinsei-e-kana.sakai.jp/#!/list/detail?roomId=99163>

(問合せ) 横須賀市子育て支援課 (TEL 046-824-5377)

横須賀市では、連合町内会長・連合自治会長等から青少年育成推進員の推薦を頂き、市長から委嘱します。その際は、連合町内会定例会等において推進員制度の概要等をご説明し、推薦をお願いしています。

推進員は全市的な協議会活動のほか、23中学校区で組織している地域連絡会において、地域活動を行っています。

最近では、青少年育成推進員の存在や活動について、より多くの方々に知っていただくため、活動成果の展示場所を工夫しています。昨年度は大型ショッピングセンターでの展示を行い、今年度も小中学校や、警察署内での展示、各町内イベントへの出張展示に向けて調整しています。

また、推進員定数の見直しや、欠員補充の為のアンケートも実施し、活動実態に合わせた定数の設定や公募制度の導入等、様々なアイデアを出し合い、柔軟に検討を進めています。



○平塚市



平塚市は28小学校区、定員合計333名で活動しています。色々な団体がある中でも、青指は地区活動の場面で、なくてはならない存在になっています。その青指は基本的にどの地区も市の依頼により各自治会長、町内会長からの推薦を受け任についています。

① **市青指の取組み事例** 昨今、定員割れをおこしている地域もあります。くいとめる為の取組みとして、まずは何よりも青指活動を広く知ってもらう目的で「広報ひらつか」に3ページにわたり青指メインイベント”子ども大会”を取材、掲載頂きました（※写真参照）。発行部数115,000部、市内全世帯にポスティングしている他、公共施設や平塚駅でも配っています。ぜひ青指に興味を持ち、やってみたい人が出るきっかけになる事を願っています。

② **地区青指の取組み事例** 平塚市28小学校区の中でも常に定員を下回らず、空きが出たら即新任青指になる方が待っている状態の地区があります。

ポイントは、①活動を強制せずに笑顔で楽しむ ②各イベント終了後にお手伝い頂いた方々含めての懇親会を必ずする(ただし費用をかけない) ③(コロナ前は)毎年、地域諸団体、学校(一般職員含む)が一堂に会して懇親会を行っており、色々な立場の人と交流出来る環境になっているのが特に大きいです。活動が無理のない範囲内で笑顔で出来、更に、多くの知らなかった人との交流の場になっているようです。

○松田町

松田町では、青少年指導員の活動や役割をより多くの町民に知ってもらうため、町内に配布される回覧板を活用し、「神奈川県青少年指導員だより つばさ」を回覧しました。町内全域への情報発信により、指導員活動への関心や理解を少しずつ高めていくことを目指しています。

今後も、地域に根ざした地道な取り組みを通じて、仲間づくりを進めていきたいと考えています。

